

# ケアプラン点検 アンケート結果報告 (令和7年度)

---

## アンケートの目的

本組合が実施しているケアプラン点検について、アンケートを実施し、介護支援専門員のケアプラン点検に対する意識や負担感等の課題を整理し、今後のケアプラン点検の有効な活用法について検討する。

---

実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

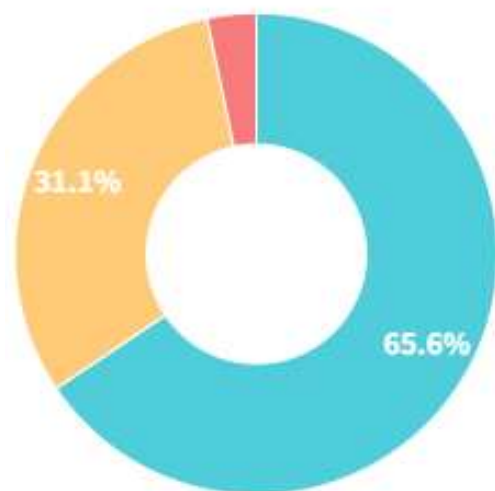
実施方法：事業所へメール等で送付、回答

調査件数：24事業所（ケアプラン点検実施：24事業所）

回答人数：61人（介護支援専門員）  
（ケアプラン点検を実施した介護支援専門員61名）

## 1.ケアプラン点検について

### 1. 準備期間



● 良い	40 (65.6%)
● どちらかと言えば良い	19 (31.1%)
● どちらかと言えば悪い	2 (3.3%)
● 悪い	0

### 【意見・感想】

多くの回答者が、約2週間の準備期間について「適切で対応可能」と評価しており、事前のケアプラン点検シート等により、整理しながら準備できた点が好評でした。

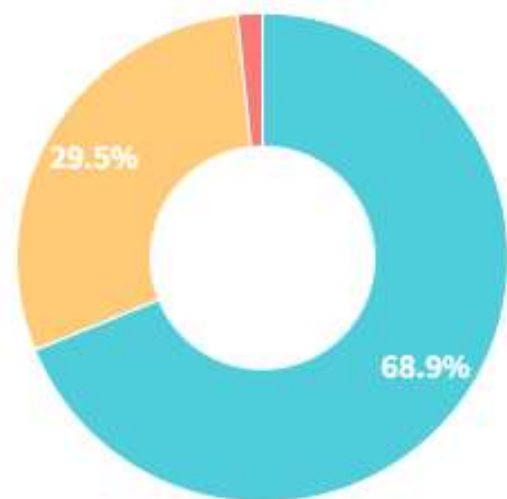
通常業務と並行しても無理なく対応できたとの意見が多数ありました。

一方で、訪問や記録、他会議等の通常業務と重なることで、準備時間の確保が難しく、締切直前の対応や準備不足となったケースも見られました。

また、経験の浅さや業務集中時期によって負担感に差があり、「もう少し余裕がほしい」との意見も一定数ありました。

⇒早めに取りかけられる工夫や、時期の調整を行おうと思います。

## 2. 提出資料（量）



● 良い	42 (68.9%)
● どちらかと言えば良い	18 (29.5%)
● どちらかと言えば悪い	1 (1.6%)
● 悪い	0

### 【意見・感想】

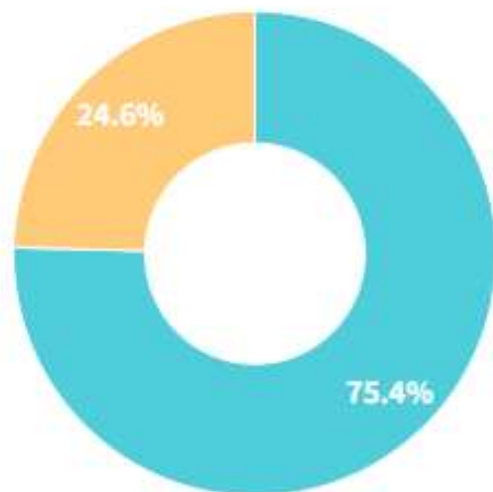
提出資料の量については、「適切」「負担が少ない」との評価が多数ありました。特に、1～2事例程度であったことや、通常業務で作成している書類を活用できた点から、無理なく準備できたとの意見がありました。

また、過去と比較して提出資料の量が減少している点も負担軽減につながっているとの意見も聞かれました。

一方で、支援経過記録が多いケースや状態変化の多い利用者では資料量が増え、負担が大きくなるとの指摘もありました。

⇒概ね適正な量であると回答された方が多かったです  
が、ケースに応じて柔軟に対応したいと思います。

### 3. 内容



● 良い	46 (75.4%)
● どちらかと言えば良い	15 (24.6%)
● どちらかと言えば悪い	0
● 悪い	0

### 【意見・感想】

ケアプラン点検の内容については、「学びや気づきが多く有意義」との意見が多数ありました。

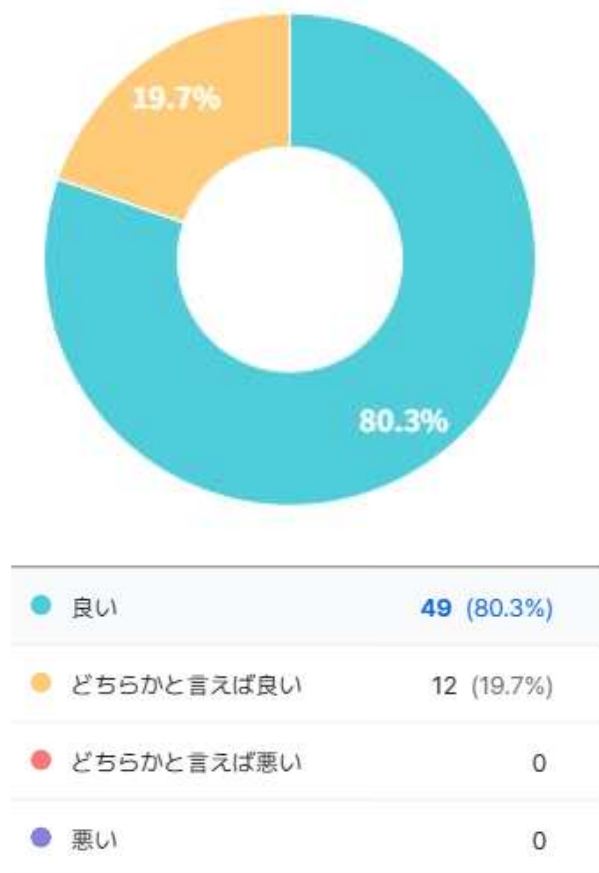
特に、アセスメントの不足や記録の不備、課題分析の甘さなど、自身の課題を再認識できた点が大きな成果として挙げられていました。具体的かつ根拠に基づいた助言により、支援の方向性やプラン作成の意図が明確になったとの意見も多数ありました。

また、事前の書面でのやり取りと面談を組み合わせることで理解が深まり、対面での助言は実務に直結する学びにつながっているようでした。

一部では「質問の意図が分かりにくい」との声もありましたが、全体としては自己の振り返りやスキル向上につながる前向きな機会として捉えられているようです。

⇒実務にすぐ活かせる内容だったという意見が多く、今後も継続していきたいと思えます。

## 4. 進行・時間配分



## 【意見・感想】

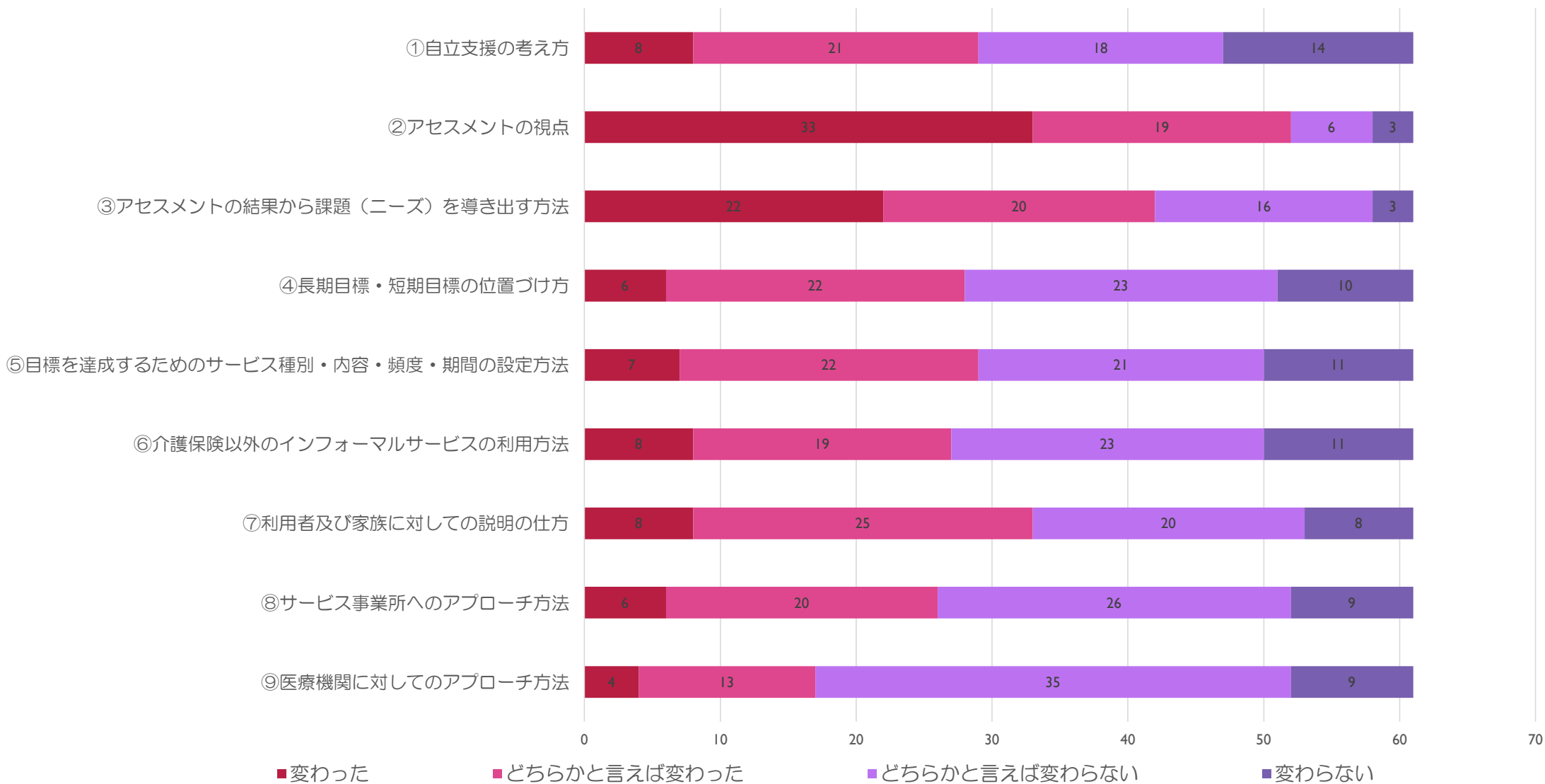
進行や時間配分については、「スムーズで適切」との評価が大多数でした。事前確認を踏まえた効率的な進行に加え、穏やかで話しやすい雰囲気の中で意見交換ができた点が高く評価されていました。現場の声を丁寧に聞き取る双方向の進行により、理解の共有が深まったとの意見も多かったです。

時間については「1~2時間程度でちょうどよい」とする意見が多い一方、「あっという間で足りない」「もう少し話したい」との声もありました。

また、助言の面談中は業務が止まるため、やや時間を短くしてほしいと希望する意見も一部見られました。

⇒全体として満足度は高く適切な進行との意見が多数でしたが、業務状況に応じた時間調整をして行こうと思います。

## 2. ケアプラン点検を受けて、ケアプラン作成時に変わったことについて



## 2.ケアプラン作成時に変わったこと（コメントから抜粋）

### ①自立支援の考え方

- 自立支援の基本である「本人ができることは自分で行う」という視点を再確認し、過度な介入を避ける重要性が整理された。
- ケアプランへ本人の役割を明記することや、実施状況の確認・記録の重要性を認識しました。

### ②アセスメントの視点

- アセスメントはチェック形式のみではなく、課題分析標準23項目に基づき、具体的かつ多角的に記載した方が、わかりやすいと気づいた。
- 身体面だけでなく、認知・心理・環境・家族状況等を含めた総合的な視点が重要であり、変化の追記や継続的更新の必要性も整理された。

### ③アセスメントの結果から課題(ニーズ)を導き出す方法

- 課題抽出には分析力の強化が必要であり、自立阻害要因や環境・ストレスを含めた全体像の把握が重要とわかった。
- サービスの必要性や継続理由を根拠として明確にし、利用者・家族・多職種の意向をすり合わせながらニーズを導く視点が整理された。



## 2.ケアプラン作成時に変わったこと（コメントから抜粋）

### ④長期目標・短期目標の位置づけ方

- 長期目標と短期目標の連動性を明確にし、アセスメントに基づいた具体的な設定が必要とわかった。
- 状態変化がない場合でも根拠を持って目標を維持・見直すことの重要性を再確認し、本人の意向を反映した具体的で実現可能な目標設定をしようと思った。

### ⑤目標を達成するためのサービス種別・内容・頻度・期間の設定方法

- 本人・家族の意向を踏まえつつ、目標達成に必要な根拠に基づいたサービス設定が重要とわかった。
- 頻度は具体的に明記し、曖昧表現を避けようと思った。
- サービス選定理由の明確化や、期間設定の見直しと評価の連動の重要性を再認識した。

### ⑥介護保険以外のインフォーマルサービスの利用方法

- 地域資源や家族支援の把握と活用の重要性を再認識した。
- インフォーマルサービスは当たり前になり、記録から抜けやすいため、意識的な記載が必要と気づいた。
- 社会資源の活用や情報共有、多職種連携による支援の広がりが重要とわかった。

## 2.ケアプラン作成時に変わったこと（コメントから抜粋）

### ⑦利用者及び家族に対して説明の仕方

- 本人・家族の理解度に応じた分かりやすい説明の必要性を再認識した。
- 提案内容・反応・同意までの一連の流れを記録することが必要であり、説明責任の重要性を再認識した。
- 信頼関係の構築と丁寧なコミュニケーションの重要性も整理された。

### ⑧サービス事業所に対してのアプローチ方法

- 事業所との連携では、情報共有の質と根拠の明確化が重要とわかった。
- 担当者会議を通じた役割共有や、加算算定根拠の確認と記録が必要であるとわかった。
- 正確な情報共有によりアセスメント精度向上につながることをわかった。

### ⑨医療機関に対してのアプローチ方法

- 医療機関との連携では、連携室や書類を活用した情報共有の重要性を再確認した。
- 医療機関ごとの対応差を踏まえた柔軟な連携が必要であると感じた。
- 医学的情報を共有することでアセスメントの質が向上し、多職種連携の強化が重要とわかった。

### 3.ケアプラン点検に提出した事例は、どのような点に注意して見直しを行いましたか。

- アセスメントの記載内容をより具体的・詳細にし、課題分析に基づいた根拠あるプラン作成を行う必要性を再確認した。
- 状態・生活状況・支援内容・効果を一体的に捉え、サービスの必要性が第三者にも分かるように記録しなければならないと感じた。
- インフォーマルサービスや家族支援を含めた社会資源の活用が不足していたため、今後はアセスメント結果を踏まえ積極的に位置づける必要があることを再認識した。
- 福祉用具やサービス導入について、身体状況・生活環境・疾患などの根拠を明確に記載する必要性を感じた。
- 提案内容・説明内容・家族の反応・事業所との連携内容等の記録不足であることがわかった。
- サービス内容や頻度、期間設定が曖昧なケースがあり、根拠に基づいた具体的な設定をしなければならないと再認識した。
- 家族の介護状況・精神面の把握が不十分だったと気づいた。
- 軽微な変更や継続ケースにおいても、根拠の再確認と評価の見直しが必要であることを認識した。

## 4.ケアプラン点検をまた受けたいと思いますか。（要望等）

- ケアマネジメントの質の振り返りや見直しにつながるため必要と思う。
- 一人ケアマネのため、他者の視点を得る機会として重要だと思う。
- 自分では気づけない点に対して助言があり、今後に活かせた。
- 他事業所や他ケアマネの考え方を知る良い機会となった。
- アセスメント・プラン作成・記録の質向上につながる。
- 実務に直結する助言があり業務改善に有効である。
- 保険者と直接話ができる貴重な機会である。
- 他事業所の取り組みや視点を知ることができる。
- 書面だけでなく直接説明・相談できる形がよかった。
- 事例や書き方の参考資料があると助かる。
- 業務繁忙期（モニタリング時期等）を避けてほしい。

⇒「定期的に受けたい」「業務改善に有効」等の肯定的意見が多数ありました。  
一方で「業務負担・時期調整への配慮」を求める意見もあったため、実施時期  
や提出資料等検討していきたい と思います。



# ケアプラン点検の目的

ケアプランがケアマネジメントのプロセスを踏まえ

「自立支援」に資するケアプランとなっているかを

基本となる事項を介護支援専門員と確認しながら

介護支援専門員の「気づき」を促すとともに

「自立支援に資するケアマネジメント」とは何かを追求し

その普遍化を図り健全なる給付の実施を支援するために行う

ケアプラン点検に御協力いただいた事業所の皆様におかれましては、御多用の中、御協力いただき誠にありがとうございます。

ケアプラン点検は、決して指摘を行うことのみを目的としたものではなく、「気づき」を促し、面談を通して介護支援専門員の皆様と直接お話をさせていただきながら、現場の状況を保険者として理解し、互いに同じ思いで介護保険事業に取り組んでいくことを目的として実施しております。

そのため、どうぞお気軽な姿勢で御対応いただければ幸いです。

また、ケアプラン点検終了後のアンケートをもとに、介護支援専門員の皆様のさらなる質の向上や負担軽減につながるよう、今後のケアプラン点検の方法について検討してまいります。

今後とも、ケアプラン点検等への御協力をよろしくお願いいたします。

